

平成25年度第1回林野庁入札等監視委員会 審議概要

開催日及び場所		平成25年6月12日(水曜日)林野庁入札室		
委員		前原一彦(公認会計士) 鍛冶良明(弁護士) 近田直裕(公認会計士、税理士)		
審議対象期間		平成25年1月1日～平成25年3月31日		
審議対象案件		10件	うち、1者応札案件3件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 - 1件	
抽出案件		3件 (抽出率30%)	うち、1者応札案件1件 (抽出率33%) 契約の相手方が公益社団法人等の案件 - 1件 (抽出率-%)	
抽出案件内訳	工事	一般競争	- 1件 うち、1者応札案件 - 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 - 1件	
		指名競争	公募型指名競争	- 1件 うち、1者応札案件 - 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 - 1件
			工事希望型競争	- 1件 うち、1者応札案件 - 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 - 1件
			その他の指名競争	- 1件 うち、1者応札案件 - 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 - 1件
		随意契約	- 1件 うち、1者応札案件 - 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 - 1件	
	業務	一般競争	- 1件 うち、1者応札案件 - 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 - 1件	
		指名競争	公募型競争	- 1件 うち、1者応札案件 - 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 - 1件
			簡易公募型競争	- 1件 うち、1者応札案件 - 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 - 1件
			その他の指名競争	- 1件 うち、1者応札案件 - 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 - 1件
		随意契約	公募型プロポーザル	- 1件 うち、1者応札案件 - 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 - 1件
			簡易公募型プロポーザル	- 1件 うち、1者応札案件 - 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 - 1件
			標準型プロポーザル	- 1件 うち、1者応札案件 - 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 - 1件
			その他の随意契約	- 1件 うち、1者応札案件 - 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 - 1件
		物品・役務等	一般競争	3件 うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 - 1件
			指名競争	- 1件 うち、1者応札案件 - 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 - 1件
	随意契約(企画競争・公募)		- 1件 うち、1者応札案件 - 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 - 1件	
	随意契約(その他)		- 1件 うち、1者応札案件 - 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 - 1件	
	(特記事項) ・抽出の3件については、1者応札の契約及び落札率の低い契約等を抽出した。			
	委員からの意見・質問、それに対する回答等		意見・質問	
			回答等	
		(詳細に記述すること。)	(詳細に記述すること。)	
		(別紙のとおり)	(別紙のとおり)	
委員会による意見の具申又は勧告の内容		該当なし		
[これらに対し部局長が講じた措置]		<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin-right: 20px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px;"></div> </div>		

事務局: 林野庁林政部林政課会計経理第1班

(注)公益社団法人等とは、公益社団法人又は公益財団法人(一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第42条第1項に規定する特例社団法人又は特例財団法人を含む。)をいう。

	意見・質問	回 答
<p>委員からの意見 ・質問、それに対する回答等</p>	<p>抽出契約について 物品・役務関係 〔抽出番号1：制服ジャンパー型上衣1,033着、ズボン2,752着〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落札業者は実績がある業者か。 ・入札参加業者が4者であるが、ジャンパー、ズボンの入札であれば、もっと参加する業者があっても不思議ではない感じがするが、森林管理署向けの制服ということで扱う業者は少ないのか。 ・予定価格の2,500万円に対して、業者の入札金額が100万ぐらいの差で、ほとんど変わらないが。 ・落札業者は、これまでもそれぞれ違う業者か。 ・市場で一般的に購入する上衣とは、1着あたりの単価が高くなっているが、仕様が違うということか。また、生地などもしっかりしているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・そのとおり。 ・仕様書にあるように、通常売られているものとは若干異なる仕様となっており、その関係で実績のある業者しか参加しないと思われる。 ・毎年発注しており、仕様も変わらないことから、そのようになると思われる。 ・この他にもシャツの入札を行っており、違う業者がそれぞれ落札しているが、ここ3年はこの業者が落札している。 ・15頁の仕様書のとおり、市販のものとは違っており、現場で使用することから生地も丈夫なもので単価も市販と比べると高くなる。
	<p>〔抽出番号2：平成24年度奥地荒廃地早期復旧対策手法検討調査委託事業一式〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入札が第1回から第3回までであるがこれらに至った経緯は何か。 ・予定価格に達しない場合は、3回目まで行うのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1回目と2回目が予定価格に達していなかったことから、3回目の入札を行った。 ・入札については、原則2回目まで行い、予定価格に達しない場合は、仕様を見直すなどして再度公告を行う場合もあるが、今回は、年度末の発注ということもあり、事業期間の確

・ 3回目までは再度公告はなかったということか。

・ 同じ日の同じ時間に3回入札を行ったということか。

・ もともと予定価格とは差がなかったもので、ある程度予備知識がある業者だったのか。

・ 直接人件費が約217万円に対して、諸経費が254万円と多くなっているがこの理由は何か。

・ 諸経費の中身は何か。利益も含まれているのか。

・ この事業は毎年行っているのか。

・ 22年度、23年度は同じ業者か。

保が難しいことから、3回目の入札を行い、その結果落札したので契約に至った。

・ そのとおり、条件を変えずに再度入札を行い、予定価格に達したので落札した。

・ 今回は、事業期間を考慮して3回目の入札を行った。入札者側が、1回目や2回目よりも低い金額では事業遂行が困難と判断すれば、入札を辞退し入札が不調になることもあるが、今回の場合、入札者側も事業遂行が可能と判断して3回まで入札して頂いた。

・ 仕様書の内容からすれば、ある程度の相場観は持っていたと推察される。

・ 工事発注の際の調査・設計業務の積算基準があり、これによると、諸経費については、直接人件費の120%となっていることから、この積算基準を準用している。

・ 主に一般管理費であって、委託事業に直接携わる以外光熱水量等であり消耗品や利益等も含めて割合でいうと120%になる。一般的には、諸経費の率については、調査事業の中身によって、諸経費の率は変動することとなるが、今回の場合は、治山事業の調査事業ということで、先ほど説明のあった、工事発注の際の調査・設計業務の積算基準を準用しており問題はない。

・ この事業は、23年度から24年度の3年間実施している。

・ 入札の結果、同じ業者が落札した。

<ul style="list-style-type: none"> ・他の業者が途中から参入することは技術的に難しいのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入札の参加は可能であるが、類似業務の経験や自社にとってのメリットなどを考慮すれば、難しいと判断されることもある。
<p>〔抽出番号3：平成24年度国有林GIS高解像度衛星作成業務〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落札業者がかなり低い金額で落札した要因に、スーパーコンピューターを持っているという説明があったが、今後同じような入札において、入札金額を積算する際に、スーパーコンピューターを持っているということを前提に予定価格を設定することとなるのか。 ・諸経費が7万円とずいぶん安くなっているが。 ・衛星画像の購入費は、オルソ化処理前と処理後の価格は、誰が購入しても同じなのか。 ・オルソ化の技術を林野庁で持ち使用するという選択肢はないのか。 ・現在、オルソ化の技術を持っているのはこの会社だけなのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の予定価格の積算においては、落札業者の見積りを参考にしていない。スーパーコンピューターを各社が導入していれば、競争が働き、一般競争入札でも対応できるが、この価格を予定価格として設定してしまえば、落札業者が一定の者に決まるなど随意契約的となる恐れがあるので、今後、予定価格を設定するには工夫が必要であると考えている。 ・今回初めて参加したこともあって、利益でなく実績重視と推察される。 ・50cm分解能で衛星画像が撮れるのは、二つ衛星を持っているアメリカの会社で、日本の代理店を通じて購入することとなる。原則、価格は同じである。 ・かなりの専門分野になるので、行政側で扱うことはあり得ない。 ・オルソ化の技術を持っている会社は他にもあるが、スーパーコンピューターでの高速処理能力があるのはこの会社ぐらいではないか。他にあれば、入札に参加していると思う。
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会としての意見はなし。 	